

技術・家庭科(家庭分野) 1年生

1 技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働きかせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

2 家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働きかせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。



自分の生活を、自分の力で工夫しながら、より良い生活にできる力をつける!!

3 3年間の主な内容

A 家族・家庭生活

- 自分の成長と家族や家庭生活との関わり
- 家族・家庭の基本的な機能
- 幼児の生活と家族
- 家族・家庭や地域との関わり など

B 衣食住の生活

- 食事の役割と中学生の栄養の特徴
- 中学生に必要な栄養を満たす食事
- 日常食の調理と地域の食文化
- 衣服の選択と手入れ
- 生活を豊かにするための布を用いた製作
- 住居の機能と安全な住まい方 など

C 消費生活・環境

- 金銭の管理と購入
- 消費者の権利と責任 など

4. 評価の観点と方法

知識・技能	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに関わる技能を身に付けているか。	定期テスト、実技テスト、実習・実技の手際の良さ・正確性、作品・レポートの完成度、ワークシート
思考・判断・表現	これからの生活を見通し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善しようとするなどして課題を解決する力を身に付けているか。	定期テスト、ワークシート、作品製作への取組方作品・レポートへの取組内容
主体的に取り組む態度	家族や地域の人々と共に協力し、よりよい生活の実現や持続可能な社会を築くために、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしているか。	作品製作の自己評価用紙、発表、ワークシート、学習への取り組みの様子(家庭学習含む)

5. 年間計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	ガイダンス B 人間にとっての食事 B 食品と栄養素 ○栄養素のはたらきと基礎食品群	10	
5	B 中学生に必要な食事 ○中学生の発達と必要な栄養 ○食品群別摂取量のめやす	11	
6	B 日常食の調理 ○調理の計画 ○1日分の献立 ○日常食の調理 ○生鮮食品と加工食品	12	
7	○地域の食文化など など B 生活の課題と実践（冬休みの課題） ○バランスのとれた食事づくり	1	
8	B 献立づくり ○1日分の献立 ○持続可能な食生活を目指して	2	
9	A 自分の成長と家族・家庭生活 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">前期期末テスト</div>	3	

技
術
科

6 持ち物

- ①毎回準備するもの ⇒ 教科書、ファイル、筆記用具
 - ※ノートは使いません。毎時間プリントがありますので、そちらに記入し、提出してもらい、評価します。
 - ※教科書とファイルは学校に置いておいてよいです。自分で判断して、家庭で学習をする場合は持ち帰ってください。
- ②必要に応じて準備するもの ⇒ 三角巾、エプロン、ハンカチなど ※使う時期が来たら連絡します。

7 授業について

- ①技術科と家庭科、それぞれの先生が授業をします。
- ②1・3年生は、前期に家庭分野、後期に技術分野の学習。2年生は前期に技術分野、後期に家庭分野の学習を行います。

家庭科は、日々の授業や提出物・作品・レポート・実習のどれもが大事!!
更に、自分自身の生活をふり返り、学んだことを生活に活かしていくことが大切です。
「自分でやって、できた!!」「これができるようになった!!」
という喜びを味わいながら成長していこう!!